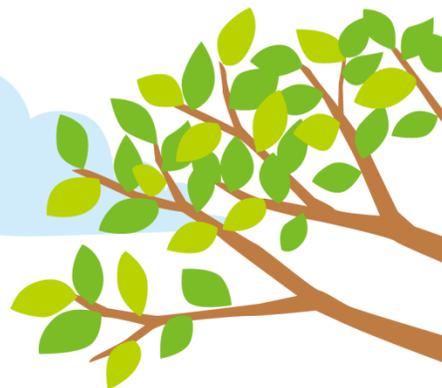




# よりよく生ききるための 人生会議に関する 地域社会資源による支援事業



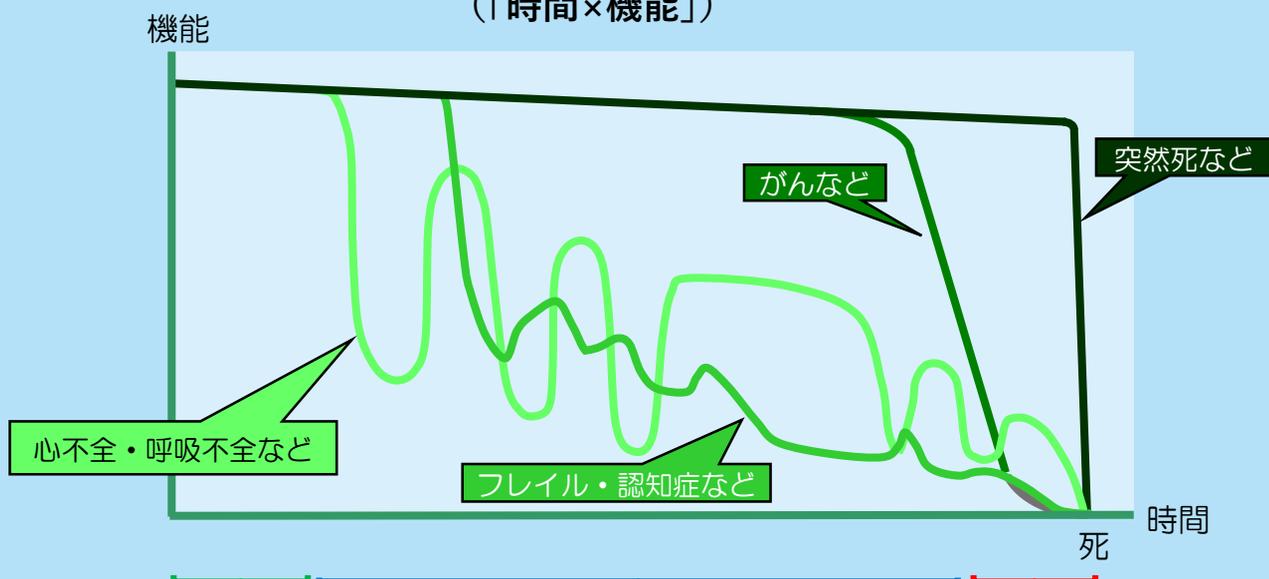
健康時から人生の最終段階に至るプロセスの中で、特に急性期を乗り越え慢性疾患管理に移行する時期や、慢性期に至り在宅や入院を繰り返すようなケアサイクル途中の時期にある人には、今後の人生の「生き方」を考えるための支援が必要です。

本事業では、そのような時期にある人が生き方・生ききり方を考え、本人らしい人生を送ることを目的に、本人家族や多職種によって人生会議（ACP）に取り組むことを支援する活動を実施しました。



## 高年齢期における健康状態の段階と人生会議（ACP）

（「時間×機能」）



比較的健康な状態  
医療機関をほぼ受診  
しない時期

慢性疾患管理期  
ケアサイクルの最中

今回の事業で対象  
としている時期

人生の最終段階

一般的に認められている医学的知見から心身機能の障害や衰弱が著明で明らかに回復不能な状態であり、かつ近い将来確実に死に至ることが差し迫っている状態

# 本事業の活動の流れ

## 事前調査

本会の会員施設（国保直診：805施設）に対し、人生会議（ACP）の実施状況等のアンケートを実施。また、有識者からの助言もいただいた。

## 教材作成

事前調査から得た情報をもとに下記教材を作成。  
①手引書 ②啓発資料 ③研修会教材（スライド・マニュアル）

## 実務者研修会

本事業の連携団体の担当者を招集し、上記教材を用いて、多職種研修会の企画・運営手法の習得を目的とした研修を実施。

## モデル活動 （人材育成）

各連携団体（9団体）において、上記研修会の受講者を中心に、地域の実情に応じた人生会議（ACP）を企画、運営。

## モデル活動 （対象者支援）

上記活動で人生会議（ACP）の取組手法を習得した者が、希望者に対し、実際に会議を開催。

**\*教材の完成**

**\*人生会議（ACP）  
の取組手法の蓄積**

# 本事業の成果物

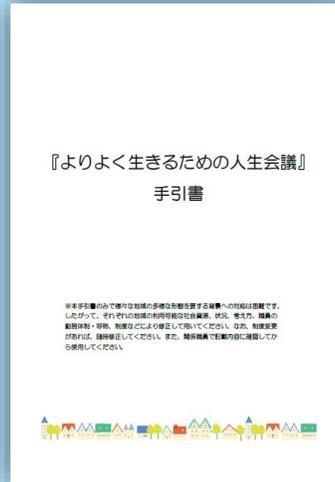
### ▼活動報告書



### ▼啓発資料



### ▼手引書



### ▼研修会運営マニュアル



### ▼研修会運営スライド

